

スモン調査研究協議会研究報告書

No.6

昭和 46 年度治療予後部会研究報告

昭和 47 年 3 月

スモン調査研究協議会

目 次

I 治療予後部会員の各個研究

- I - 1 部会員 井 形 昭 弘……………3～10
1. 研究概要 鹿児島県におけるスモン
2.～4. 研究報告目録
- I - 2 部会員 伊 東 弓多果……………11～18
1. 研究概要 スモン発生とキノホルム使用状況
—釧路市立病院外来調査を中心として—
2.～4. 研究報告目録
- I - 3 部会員 右 京 成 夫……………19～33
1. 研究概要 I.キノホルムに対し神経学的に異なる態度をとった興味あるスモンの1症例
II. スモンのビタミンB₁₂治療と経過および予後について
2.～4. 研究報告目録
- I - 4 部会員 大 月 三 郎……………34～37
1. 研究概要 キノホルム剤使用中中止約1年後のスモン患者の予後
2.～4. 研究報告目録
- I - 5 部会員 大 藤 真……………38～50
1. 研究概要 高濃度Lactobacillus 製剤によるスモン腹部症状の治療—その臨床効果と腸内菌叢、大便中の有機酸の変動—
2.～4. 研究報告目録
- I - 6 部会員 大 村 一 郎……………51～57
1. 研究概要 I. スモンに対する各種薬剤の検討 II. スモン患者に対する乳糖負荷試験の検討
2.～4. 研究報告目録
- I - 7 部会員 奥 田 観 士……………58～63
1. 研究概要 スモンの眼障害, とくに臨床病理学的検討, 実験的研究および視機能の推移について
2.～4. 研究報告目録

- I - 8 部会員 奥田邦雄…………… 64～65
1. 研究概要 スモン症後胎状態における尿中メチールマロン酸量について
 - 2～4. 研究報告目録
- I - 9 部会員 楠井賢造…………… 66～76
1. 研究概要 スモンの早期におけるステロイド療法の経験
 - 2～4. 研究報告目録
- I - 10 部会員 黒岩義五郎…………… 77～83
1. 研究概要 スモンの腹部症状の分析
 - 2～4. 研究報告目録
- I - 11 部会員 小坂淳夫…………… 84～91
1. 研究概要 スモンの臨床的研究
 - 2～4. 研究報告目録
- I - 12 部会員 越島新三郎…………… 92～109
1. 研究概要 スモンの病因および治療に関する臨床的研究 I. スモン療法におけるキノホルム剤の意義についての臨床的検討 II. スモンの治療効果について III. スモンの神経症状（痙性麻痺）に対するミドカルム（NK-7415）の効果について
 - 2～4. 研究報告目録
- I - 13 部会員 杉山尚…………… 110～120
1. 研究概要 I. スモンの治療指針作成に対する調査報告 II. スモン患者のリハビリテーションへの試み—下肢部分浴の効果— III. スモン患者のリハビリテーションの全国調査票の作成と検討 IV. スモン患者のリハビリテーション調査成績の分析
 - 2～4. 研究報告目録
- I - 14 部会員 祖父江逸郎…………… 121～131
1. 研究概要 I. 疫学的検討 II. サルモネラ食中毒を背景として発生したスモン症例の分析 III. 腹部症状，キノホルム投与，神経症状発現の相互関連についての分析 IV. スモンとエタンプトールノイロパチーの比較研究 V. スモン発症とキノホルムの関連に関する研究
 2. 研究報告目録
- I - 15 部会員 高崎浩…………… 132～134
1. 研究概要 スモンの予後調査補遺
 - 2～4. 研究報告目録
- I - 16 部会員 椿忠雄…………… 135～138
1. 研究概要 キノホルム服用後，視力障害のみを主徴とした2例
 - 2～4. 研究報告目録

- I - 17 部会員 豊倉康夫……………139～144
 1. 研究概要 I. スモンにおける末梢神経障害 II. 薬物によるスモン類似のニューロパチー
 2.～4. 研究報告目録
- I - 18 部会員 花籠良一……………145～155
 1. 研究概要 I. 当神経内科とスモン診療の特殊性 II. 潜在患者—未診断患者と未登録患者—
 III. 結核に合併したスモン IV. スモンの精神症状と性格変化 V. スモン—キノホルム中毒—の体内セロトニンとL-5-HTP療法 VI. スモンの痙性歩行の解析と筋緊張性振動反射の応用
 2.～4. 研究報告目録
- I - 19 部会員 早瀬正二……………156～157
 1. 研究概要 スモン患者の現況
 2.～4. 研究報告目録
- I - 20 部会員 平木 潔……………158～167
 1. 研究概要 スモンの誘発筋電図所見—キノホルム投与との関係について—
 2.～4. 研究報告目録
- I - 21 部会員 藤原哲司……………168～180
 1. 研究概要 スモンの臨床および神経生理学的研究
 2.～4. 研究報告目録
- I - 22 部会員 三好和夫……………181～186
 1. 研究概要 スモン症例の経過と予後
 2.～4. 研究報告目録
- I - 23 部会員 椿 忠雄, 井形 昭弘……………187～190
 WHO Exchange of Research Workers Grant-Final Report
 Comparative study on the pathogenesis of subacute myelo-optico-neuropathy
 (S. M. O. N.) : A peculiar neurological disease in Japan

II 臨床班員・治療予後部会員の共同作業

- II - 1 責任者 楠井賢造……………193～200
 スモンの治療指針
- II - 2 責任者 楠井賢造……………201～202
 昭和46年6月現在, 臨床班員が観察中のスモン症例概数調査, [附]同臨床班員が過去に経験

したスモン症例概数調査

- Ⅱ－３ 責任者 楠井賢造……………203～206
昭和45年1月1日以降におけるスモン患者の発生状況調査成績(総括報告)
- Ⅱ－４ 責任者 祖父江逸郎……………207～221
スモンの予後調査成績
- Ⅱ－５ 責任者 杉山尚……………222～247
スモン患者のリハビリテーション全国調査集計報告